

JRなど運賃割引推進ニュース

2019年10月8日(木) No.77号 発行：全国精神保健福祉会連合会
交通運賃割引全国運動推進PT 座長：奥田和男 事務局長：堀場洋二
連絡先携帯電話 090-3480-1541 Eメール horiba@sc.starcat.ne.jp



全国精神保健福祉会(みんなねっと)

❖ 衆参両院の請願採択を受け、全国運動を提起!! ❖

衆参両院での「請願採択」を受けて、交通運賃割引全国運動プロジェクトチームの会議及び全国精神保健福祉会(みんなねっと)代表理事会で確認された「今後の運動」について、都道府県連宛に送られた内容をお知らせします。(みんなねっと10月号にこの詳細と九州ブロックからの報告が掲載されています)

交通運賃プロジェクト会議がまとめた

請願採択を受けて、今後の運動の進め方について

JR等の交通運賃割引制度を精神障害者も対象とする「請願」を衆参両院の国土交通委員会が6月26日に採択しました。

この請願採択を受けて、7月25日にプロジェクト会議を開催し、今後の運動について次の通りまとめましたので報告・提言します。



1 請願採択の背景と請願を契機にした運動の強化について

2016年5月13日、全国から162名の要請団が集結し、62万余筆の請願署名提出行動から4回目で「衆参両院において採択」という画期的な成果を得ました。

この間、みんなねっとは国会請願と並行して都道府県議会と市町村議会からの意見書提出や交通事業者への要望協議などの取り組みを重ねてきました。

国はオリンピックの東京開催を控え、障害のある人もない人も共に支えあう社会づくりに向けてユニバーサルデザイン2020行動計画を推進してきました。こうした国の動きや働きかけがあり、昨年10月、JALやANAは航空運賃が写真添付の手帳所持者すべてを対象に割引を発表し、12月～1月に実施しました。また、えちぜん鉄道と福井鉄道では、指定難病患者の訴えを受けて、割引が適用されました。

こうした全国運動の積み重ねと国の動きや働きかけが請願採択に結び付きました。請願採択は直接運賃割引の実現に結び付くものではありませんが、交通運賃割引制度を精神障害者にも適用されるよう国会議員の総意として国に求めています。私たちの運動を背後から推してくれています。請願採択を契機に、交通運賃割引実現の大きな前進に向けて運動の強化を図りましょう。

2 この1年の具体的な運動の推進について

1) JRや公営交通への要望を重点に、協議とその回答についてのスケジュールを設定する。

- 2) 事業者との協議には当事者も参加し、協議の焦点である「精神への適用は減収ではなく売り上げの増加になる」ことや全国の家族会や西鉄のアンケート調査結果で示された「精神障害者が家族に負担をかけるために利用を控えている」という生活実態について説明して理解を求める。
- 3) 西鉄の実施から1年以上が経過しており、利用している当事者の声や西鉄の担当者の方の声などを伝えるように準備する。
- 4) 請願が採択され、議員も関心を寄せている。交通事業者との協議には地元の議員（秘書の場合も）にも同席を要請する。
- 5) 意見書はその年でリセットされる。今年は改めて、都道府県議会と市町村議会からの意見書提出してもらう具体的な取り組みをする。
- 6) マスコミ対策として、情報提供を行い、理解をしてもらう取り組みを行う。



3 運動のスケジュールについて

JR各社との協議は全国統一行動として10月と12月に実施することなど。

❖ みんなねっと(全福連)から各都道府県への行動要請内容 ❖

7月の交通運賃割引PTの会議のまとめを受け、8月7日の代表理事会で確認をしました。添付の内容（※後段で紹介）で、すすめてまいりますのでよろしくご了承ください。

◎ 最重要点は10月と12月にJR各社に統一して要望をすることです

国会請願採択を受け、国会議員の力を借りることも大切です。国会議員が同席すれば、JRも拒否はできません。

ブロック単位で要請していくことが基本ですが、少なくとも各本社のある県連とブロック担当理事が実施のための手立てをとっていただけるようお願い申し上げます。

- ・JR北海道 北海道札幌市
- ・JR東日本 東京都渋谷区
- ・JR東海 愛知県名古屋市
- ・JR西日本 大阪府大阪市
- ・JR四国 香川県高松市
- ・JR九州 福岡県福岡市

◎ 自治体への意見書採択も改めて取り組みましょう

一度採択したところも、国会会期ごとにリセットされてしまうので、繰り返し行っていることが重要です。



2020年オリンピック・パラリンピック開催に併せて国の取り組みも加速しています。この機会を逃すわけにはいきません。様々な条件はありますが、ぜひとも力を集中していただきたくお願いいたします。

全国大会までにJR各社へ要望を!! 大会で活動計画を!!

11月7日・8日に開催される「みんなねっと愛知大会」では交通運賃の分科会が設定されています。シンポジストとして出席する読売新聞の原昌平さんが、「生の声を届けよう」と当事者や家族によるメールや手紙作戦も提起してくれています。この分科会で意見交換を行い、後半の具体的な活動計画を打ち立てましょう。
(交通運賃割引全国運動プロジェクトチーム座長：奥田和男)